

甲状腺刺激ホルモン (TSH)

商品番号: TSH

前書き

正確な甲状腺機能分析のための正確なTSH検査キット。高い感度、特異性、安定性。CLIA、FIA、LF法が利用可能です。信頼性の高い結果が得られます！

[詳細を学ぶ](#)

特徴	商品説明
製品名	抗h TSH
概要	モノクローナルマウス抗体 in vitro 動物由来成分を含まない条件下で。
アプリケーション	LF、CLIA、FIA
形状/外観	液体、保管中にわずかに不透明になることがある。
濃度	1.0 mg/ml (±10%)
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
エピトープ	グループ1
純度	≥ 95%
親和定数	KA= 5.1×10^9 1/M; KD= 2.0×10^{-10} M (= 0.20 nM)
関連製品	ネイティブTSH抗原 996-51
緩衝液	0.9% NaCl、保存料として 0.095% NaN3
IEFプロファイル	6.6-7.7
交差反応性	hCG 0.1%、LH 0.8%、FSH 1.0
特異性	抗体はヒトチロトロピンとその遊離ベータサブユニットを認識する
保管条件	詳細
ストレージ	+2-8°C
送料	コールドバック
賞味期限	12ヶ月
指標	仕様
包装外観	製品外装箱及びアルミ箔包装袋は完全であり、損傷はない。
緩衝液の外観	緩衝液は、浮遊物のない透明なものでなければならない。(Getein1100用の試薬キットにのみ適用されます)。
緩衝液の容量	緩衝液の容量は2.0mLとし、正味量は2.0g±0.10gの範囲内としてください。
緩衝液のpH	緩衝液の pH は 7.2±0.2 (Getein1100用試薬キットにのみ適用) の範囲内でなければなりません。
試験片の外観	きれいで平らな外観、バリ、損傷、汚染なし。

特徴	商品説明
保管条件	詳細
指標	仕様

テストストリップ幅	幅は公称値（4.00mm）の±0.20mmを超えてはならない。
移動速度	液体の移動速度は10mm/min以下でなければならない。
最小検出限界	検出下限濃度は0.10μIU/mL以下とする。
特異性	卵胞刺激ホルモン(FSH)の検出濃度が200IU/Lを下回らないこと。黄体形成ホルモン(LH)の検出値が200IU/Lを下回らないこと。ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)は1000IU/Lを下回らない範囲で検出されます。
直線範囲	0.10 μIU/mL~50 μIU/mLの範囲内で、直線相関係数 $r \geq 0.990$ 。
精度	相対偏差は20%を超えてはならない。
繰り返し性	再現性は10%以下でなければならない。
バッチ間精度	バッチ間の差は15%以下でなければならない。
安定性	製品は密封したアルミホイル袋に入れ、4~30°Cで保存し、有効期限後1ヶ月以内の製品を検査し、検査結果は項目2.1~2.8の要件を満たすこと。